

# 自己点検・評価 報告書

麻生建築&デザイン専門学校

平成27年度  
(2015年度)

この自己点検・評価報告書は、麻生建築&デザイン専門学校の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

平成28年 5月 1日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 熊野 学

## 目 次

基準 1	理念・目的	- 2 -
基準 2	教育の内容	- 3 -
基準 3	教育の実施体制	- 5 -
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	- 6 -
基準 5	学生支援	- 7 -
基準 6	学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7	社会的活動	- 11 -
基準 8	管理運営	- 12 -
基準 9	財 務	- 13 -
基準 10	改革・改善	- 14 -

## 評価結果

- S : 達成度が高い
- A : ほぼ達成している
- B : 達成しているがやや不十分
- C : 達成は不十分で改善を要する (不適合)

## 基準 1 理念・目的

### 項目総括

建学の精神や理念など育成人材に対する人材像を持ち教員・学生への浸透を図っている。また、新任教員には、新任研修の際に麻生塾発祥の地にある「無私」の碑を見学し、その由来について説明がなされている。方針・理念・ミッションは明文化し、学内に掲示等を行っており朝礼にて唱和をおこなっている。学外には Web サイトで紹介し、教職員へは『麻生塾ルールブック』に掲載している。学校・学科の目標および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧にて提示している

### 主な課題及び改善の方向性

学校独自のものとして、各学科、各科目など様々なレベルにおいて、今よりもさらに建築業界やデザイン業界の特性に対応する表現を拡充し、よりわかりやすく詳細な表現の検討を進めていきたい。

### 中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

建学の精神、教育理念、教育目的、育成人材像は全て明文化し、学外に対して Web サイトにて公表している。理念は学校構成員に文書や研修を通して共有している。

### 小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

あらゆる機会をとらえ、建学の精神について触れ伝えている

### 小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

就職指導、GCB 教育などの場面でも指導している。

### 小項目 1-1-3

「各校の教育理念」は、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育理念には麻生全体の教育方針を中心とした表現であり、より建築業界やデザイン業界の特性に対応する表現をより拡充するなど検討をしても良いと思われる

### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

明示され毎年定期的に見直し確認されている

### 小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

オリエンテーションにて確認・共有を図っている

### 小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各メンバより教育に必要な設備・環境など意見を集約し適切に準備を図っている

## 基準 2 教育の内容

### 項目総括

非常勤講師を含む確かな業界の人材ニーズに耳を傾け、その内訳を教育に盛り込むためにヒアリングを行い、教育課程編成委員会を運用し業界関係者や有識者の声など多様な意見を参考にカリキュラム開発を行っている。

授業評価は授業アンケートを実施することで把握に努め、結果を授業の改善にフィードバックしている。教員は担当科目の目標に向けた授業を行うことができる要件を満たし、改善・改良の仕組みに沿って更なるスキルの向上を図っている。学内外の研修参加も実施している。

### 主な課題及び改善の方向性

適切なタイミングと業界や企業の連携の案件に伴って弾力的に運営できる柔軟性を持ったコマを用意する必要性やケースもありえる。概要的な計画コマシラバスに対し、結果に基づき実績を記録し振り返りと改善検討を行っている。企業連携による学びの機会を更に模索しつつ、業界ニーズに応えられる付加的教育にてサポートができる形を検討したい。

### 中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

各学科の教育目的・育成人材像は、学生便覧・本校 Web サイトにて公表。各教科については常勤講師・非常勤講師、関係者を交えて協議を行い、カリキュラムに反映している。

### 小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

職業実践課程のプロセスと合わせてニーズ把握を進めている

### 小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

各授業の第一講にて周知し理解を促している

### 小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

教育課程編成委員会を開催しニーズ検討をしている

### 小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

今後はさらに内外のニーズに対する整合性を図る機会を設ける、またカリキュラム会議の実施時期や回数についても更に検討する

### 中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

学生による授業評価を年2回実施。アンケート結果に基づき、授業見学やフォローアップを実施し改善に努めている。科目担当者間で指導内容や指導力向上のための検討も、必要に応じて実施している。

### 小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

規定どおりアンケートを実施。状況によってフォローアップの面談の実施等を行っている。アンケート結果から研修計画へより連動を図り改善活動を活性化させたい

## 小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

授業アンケートベースでの改善が中心となっている。今後は「授業改善委員会」が組織されており、より積極的な取り組みが始まる。

## 小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

教務会議内にて研修のフィードバックとなる報告会を実施。教員の自主的な意向を受け管理者と合意形成した自己啓発を促進する。

## 中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

業界団体やキャリアサポートセンターを通じ目標に合致したインターンシップを実施。グローバルシティズンベーシックの学びをベースに、学生個々のキャリア教育も行っている。

## 小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

実習・インターンシップに加え、各科現場見学会などを実施。実務に触れる機会を設けている。

## 小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

GCB 教育を実施。

## 小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

科目「基礎数学」を対象者に実施。基礎学力の把握に対し専門性に対し特に必要な学科に特化されている。多様なケースに備え学力向上全体を想定し対応していく必要性も検討。

### 基準 3 教育の実施体制

#### 項目総括

教育目標の達成や育成人材像に応えられる専門性の高い教育を行うことのできる人材を積極的に募集している。非常勤講師を含め必要な人数を確保し、指導環境を整備している。また、学内外での学習環境を適切に整備し、特に連携企業への体験・インターンシップや現場見学など、安全性に配慮しつつも、学びの機会の充実を図っている。

#### 主な課題及び改善の方向性

建築業界の好調さや活発さにそって人材ニーズが高まっている。と同時に指導する専門人材の確保が難しく、必要な授業科目を教える専門性の高い人材の確保が難しくなっている。平成28年度も引き続き人材の確保に努めたい。

#### 中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集の状況に合わせて在学生数に沿った指導人材の確保を進めてきた。平成28年度も続くと見込まれる人材確保の困難さに備え、人的資源の拡充を図りたい。

#### 小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

#### 小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

学生の募集状況により入学予定者増が想定されるため、都度状況に対応を図っている。教員の人員を充足させて行くことが難しい中、対応を図っている。

#### 小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

情報交換を図っている。

#### 中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生待望の図書室の開設を始め、就職のためのキャリアサポートセンターを活用した就職指導を行っている。また、机・椅子をはじめ適宜必要な教育備品の整備管理に努めている。

#### 小項目 3-2-4

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

2F 参考資料閲覧コーナーの機能を 10 号館図書館に移管

#### 小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キャリアサポートセンターの活用指導を指導している

#### 小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

実習前研修、社会人研修の実施。インターンシップ保険加入の徹底。現場見学など安全対策に関する指導・注意喚起を行っている。

## 小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯設備については、保守点検を毎月実施しており、点検結果の説明を受けたうえで、報告書を適切に保管している。使用方法については、受入時や消防訓練などの機会を通じて、教職員の理解度向上に取り組んでいる。

## 小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

空調などの建物付帯設備については、定期的に保守点検を実施しており、点検結果の説明を受けた上で、報告書を適切に保管している。万が一、故障などが発生した場合も、修繕依頼書を受領した後、直ちに修理手配を行っている。

教育備品や教具についても、固定資産管理規程を整備した上で、当該運用ルールに基づいて適切に管理している。

## 小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても行っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

## 項目総括

年度ごと目標となる指標に対し教員間で情報を共有し、キックオフミーティングや教務会議をはじめとする各会議体にてKPIに設定した目標の共通を図っている。資格試験、コンペ実績につながる過程の管理を行っている。また、同時に個人情報に十分配慮のうえ学内システムでのデータベースによる記録を行っている。

## 主な課題及び改善の方向性

卒業生の状況をウォッチする顧客満足度調査の結果についてより内容を細かく精査し、有効な教育効果の把握に努め、改善につなげていく必要がある。結果の把握と採用企業先への訪問などの機会を設けるよう努めたい。

## 中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

2級施工、宅建、インテリアコーディネーターなど数多くの資格にそれぞれ目標管理を行い、推進発信の担当を設け臨んでいる。同様に就職活動の支援促進を管理し、業界就職や目標就職の質向上を図っている。

## 小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

指導の効果検証としての課題提出・試験を実施している

## 小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

目標設定のうえ取り組んでいる。KPIの目標値として管理・運営。

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

目標設定のうえ取り組んでいる。KPIの目標値として管理・運営。

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

目標設定のうえ取り組んでいる。KPIの目標値として管理・運営。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

職業実践専門課程の運用とあわせて公開している

小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

広報上の活用も兼ね積極的に公開している

小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業後3年目の卒業生に対して、顧客満足度調査アンケートを実施している。卒業後1年目～3年目の卒業生に対して、在籍調査を実施している。上記2件の調査結果については、教師就職研修で報告している

基準 5 学生支援

項目総括

適宜担任による面談およびスクールカウンセラーによる相談、健康診断などにより学生の目標実現に向けた支援を行なっている。保護者とも必要に応じ面談を行ない、相互理解や家庭との協調を図っている。同窓会組織(校友会)を通じて学校との情報共有を図り、卒業生のニーズに合った研修や職業紹介を行なっている。また、Webサイトを通じ学校情報を定期的に保護者、高等学校、企業等にお知らせし、学生支援を行なっている。

主な課題及び改善の方向性

ものづくり部、写真部、マナーアップサークルなど課外活動も活発に行われ、支援されている。平成28年度は増えつつある留学生のためにも適切なサポートが拡充されるように努めたい。

中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生支援に必要な相談の機会を設け、担任の面談やガイダンス、カウンセラーの相談窓口、保護者との情報共有、授業内も課外においても、また奨学生制度の面でも支援の体制を整えている。

小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

適時適宜ガイダンスを実施、記録している。内容に応じ関連部署との連携を図っている。

小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者による適切な進路相談指導を行なっている。有資格者は福岡キャンパス・北九州校・ABC校に在籍しており対応できている。自動車校・ARC校は巡回できる状況。

## 小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

利用・活用の実績を記録、内容は個人情報に基づき非公開。男性カウンセラーの必要性を感じる場面もあった。

## 小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

体制として整備している。

## 小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

保護者説明会、就職保護者説明会、三者面談など適宜共有を図っている。

## 小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

## 小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

留学生には国際交流センターとの連携、社会人への給付金等の支援、障がい者へは学生指導委員など、ケースに応じ対応している。対象学生が少数に限られているため、それぞれに対応する支援組織の設置はないものの、ケースに応じ適切に対応している。

## 小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

男女共に直営寮および留学生専用の学生寮を完備している。寮則を遵守し運営をおこなっており、担当者および各学校責任者による定期的な巡回で、寮監および寮生より状況把握のための聞き取りをおこなっている。寮生に対してのアンケートを実施し、満足度向上に繋がる改善をおこなっている。

## 小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

バスケットボール部の積極的活動、写真部、ものづくり部など学生コミュニティを積極的に支援している。

## 中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

同窓会(麻生塾校友会)を組織し、定期的に総会を行い交流の場を設けている。また卒業後の就職再幹旋など、職業紹介や講習・研修を実施している。

## 小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

校友会を組織し運営している

## 小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

校友会を組織し運営している

小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

担当者が訪問し、就業状況についてヒアリングをしている。卒業生の就職先に対し、就業 1 年後にアンケートを実施している。個人情報に関して、印刷物等で紹介する時は本人確認を実施している。過年度の調査記録はデータで保管している。

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

麻生塾 Web サイトを通じ行事、学業の成果、就職先情報などを、卒業生、保護者、業界、高等学校などに知らせている。

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適宜ブログを更新している

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適宜ブログを更新している

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適宜ブログを更新している

小項目 5-3-16

学校情報を企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

適宜ブログを更新している

=====

## 基準 6 学生募集・受け入れ

=====

### 項目総括

募集要項に学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示し、各学科がどのような能力や意欲を持った学生を求めているか明らかにしている。また、パンフレットや Web サイトにも掲載を行い入学後のミスマッチの防止に努めている。 その他募集要項には必要な授業料、施設設備費、維持費、教材費等も明示している。

### 主な課題及び改善の方向性

目指す専門性を持った人材が育成できるよう継続的に適切な募集活動を行う。  
業界の人材ニーズについて、引き続き把握していくよう努める。

### 中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

オープンキャンパスや学校説明会を通じて学科の目的や育成人材、目標などについて理解を促し、公正かつ適切に入学選考を実施している。

### 小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

アドミッションポリシーを明示している。募集要項に記載している。また、AO 入試を実施しており、アドミッションポリシーに対する理解を広めている。

### 小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

パンフレットに掲載している。

### 小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項に明記がある

### 小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項に明記がある

### 小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

パンフレット・Web サイトにて掲載

### 小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学科ごとの適切な募集定員を設定している。また、在籍学生数は公的申請上の収容定員に基づき適切に運用している。

=====

**基準 7 社会的活動**

=====

項目総括

学内のサークル活動の一部にマナーアップサークル(清掃ボランティア、挨拶などの活動を推進)を組織し、活動計画のうえ実施している。GCB教育とも連動し人間性の育成を含む成長を促す活動としている。また、ボランティア委員より都度案内をし、積極的な社会貢献を進めている。

主な課題及び改善の方向性

現段階においてはボランティア活動を単位認定するようなケースにないため、必要に応じ単位認定ができる制度上の確認などを進める。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

FDA(福岡デザインリーグ)、FAF(福岡建築ファウンデーション)に加盟。また、はかたまちづくり協議会への協力などの活動がある。H27年度は福岡建築士会との連携もあり、「博多にぎわいの研究」などの活動を行なった。

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

ボランティア委員を通じ各クラスへボランティア活動の参加案内や募金活動に関する告知を行っている。また、学内サークル「MUサークル」においてもクリーンアップ活動を実施するなどの活動がある。

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

FDA(福岡デザインリーグ)、FAF(福岡建築ファウンデーション)に加盟。また、はかたまちづくり協議会への協力などの活動がある。

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

九州竹和会などと共に、行事「お仕事スタジアム」を通じた公開の体験コーナーなどを設けた。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

福岡建築士会との連携。「博多にぎわいの研究」などの活動を行なった。

=====

## 基準 8 管理運営

=====

### 項目総括

学校運営責任者会議、マンスリーミーティング等、学校運営に関わる意思決定を行っている。また各役割に応じた組織体制をとり校務分掌にてその役割を明記している。

年間の計画や長期計画から反射して目標達成のために、人事考課制度による目標設定と連動して教職員の資質向上に努めている。

### 主な課題及び改善の方向性

福岡5校間で連携し管理・運営体制の協調を図りつつ、本校としてもスピーディにかつ円滑な学校運営に努める。

### 中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

運営会議を定期的開催している。また、職務分掌や規定は文書化され教職員に周知し、適切に運用している。

### 小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

MM会議、共有会議が定例にて実施されており、学校運営において定期的に検討・決定事項等を図っている

### 小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各員の職務分掌について文書により明記し、各員それぞれが職務の内容を認識している

### 小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

### 小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

### 小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

### 小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示までにはいたっていない。

### 小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

## 小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

## 小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

マニュアルが整備され、それに基づく訓練を定期的実施している

## 小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ルールブック内に記載あり、教務会議内にて読み合わせを行い全員の理解をすすめ周知を図っている

## 小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ルールブック内に記載あり、教務会議内にて読み合わせを行い全員の理解をすすめ周知を図っている

## 小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

計画書により計画的に研修を実施している。上長との面談等により目的意識を明確にしている。

=====

基準 9 財務

=====

## 項目総括

年度予算を計画的に管理しており、定期的に経営会議にて報告している。  
コンプライアンスを徹底し、適切な会計処理・運営を行い、外部監査の承認を受けている。

## 主な課題及び改善の方向性

今後も継続的に健全な財務運営に努める。

## 中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

予算の計画に基づいた事業計画を立て、予算に対する執行を月次にて管理している。規定に基づき固定資産等の管理を行い、設備・備品等の破損や故障の修繕を実施している。

## 小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度予算・中期計画を策定し、管理運営をしている

## 小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

月次予算を作成後、毎月確認分析し、把握している

## 小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

## 小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

## 小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務の作成した固定資産管理規程に従って管理されている。

## 小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。固定資産に計上されている図書の把握が課題。

## 基準 10 改革・改善

## 項目総括

明文化された自己点検・評価規定に基づき、内部監査を組織的に行っている。内部監査の評価結果を学内で共有している。自己評価については年度末までに実施、報告を行う。

自己点検・評価結果は学校関係者評価委員会にて報告、本校 Web サイトでも公開する。

## 主な課題及び改善の方向性

点検項目自体の検証・見直しを含め、今後さらなる改革・改善のための検討を進める。

## 中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検の基準10の各項目に対し評価規定に沿って点検を行っている。自己点検評価委員を任命し、担当に担当外の責任者を加え自己評価を実施している。

## 小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

複数名で自己点検にあたり、点検を運用。担当を中心に改善活動の認知を。

## 小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各担当・教員の理解を深めるために会議等で内部監査や自己点検評価の活動の状況等を報告している。また保管管理文書の周知や回収などの機会に随時発信を行っている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

定期的に内部監査を受け自己評価の把握に努めている。指摘事項について各担当にて改善検討を進めている。

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価の結果を報告書として文書化し、学校の Web サイトで公表する。